

日本文化で心通わせ

山添中学生がドイツ生徒らと交流

村産品で茶道体験など

山添村大西の村立山添中学校(藤原克章校長、72人)とルリンの中等教育学校「カニジウス校」の生徒らとの交流が、9日、同校とドイツ・ベ



茶道体験をするカニジウス校の生徒ら＝9日、山添村大西の村立山添中学校

ニジウス校」の生徒らの交流事業があった。日本文化の体験や給食交流があり、両校の生徒が心を通わせた。

カニジウス校は10歳から8年間在学する中等教育学校。今回は同校オーケストラ部31人が9月26日から10月13日まで日本に滞在し、各地で演奏会や交流を行う。山添村には8日に入り、村内にホームステイした。

この日は日本の昔遊びやどら焼きの試食、茶道などが体験できる五つのワークショップを用意し、山添中の生徒らが英語で案内。茶道は茶わんと茶せんを使って山添村産の茶を点てたり、飲んだりする体験をした。

カニジウス校のヘアツイ

ッヒ・グレータ・ルカさん(15)は「村の景色も素敵でリラックスできた。いろいろな人と話し、日本文化も見られて楽しかった」と笑顔。山添中2年、畑中悠翔さん(13)は「ホームステイの受け入れもし、楽器や音楽のことなどたくさん話せた。他の外国人とも話してみたいと話していた。